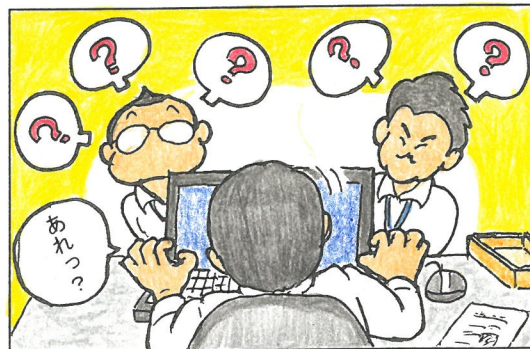
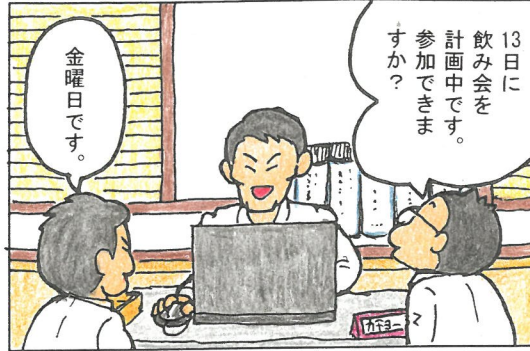




作  
SのA33

「13日の金曜日」と聞いて真っ先に思い出すのは、13日の金曜日に水辺のキャンプ場で若者たちが恐ろしい怪物のような殺人鬼に殺されまくるあのホラー映画です。

昭和から平成にかけ第12作まで作られた人気シリーズで、オジさん方にとっては常識なんですが、若い人たちは知らない人もいようで、ちょっとしたコミュニケーションのつもりだったのにまた話が通じず空回りです。

もともとキリスト教圏あたりで、「13」と「金曜日」はそれぞれ縁起が悪いとされていて、それが合わさったときは不吉マックスで忌み嫌われ、「13日の金曜日」は良くない日として欧米の人たちの集団意識に根強く残ってるんですって。

日本の「死」を連想させる「4」と「苦しみ」の「9」と似たようなモンなのかな？